



# 令和7年3月新得町議会 一般質問レポート

観光・インフラ・福祉・資産。  
未来への4つの提言と行政の回答

広報広聴専任委員会  
対象会議：令和7年第1回定期会

# 主要トピックス：4つの戦略的課題



## サイクルツーリズム

電動アシスト自転車の「稼げる」事業化へ



## 道路交通・防災

札幌3号線の冬季通行止め解消とスマートIC連携



## 介護・福祉

全国的な倒産ラッシュの中で、地域の介護を守れるか



## 新得山スキー場

暖冬による営業不能危機と人工降雪機の「水」問題

# 観光戦略：移動手段から「体験」へ

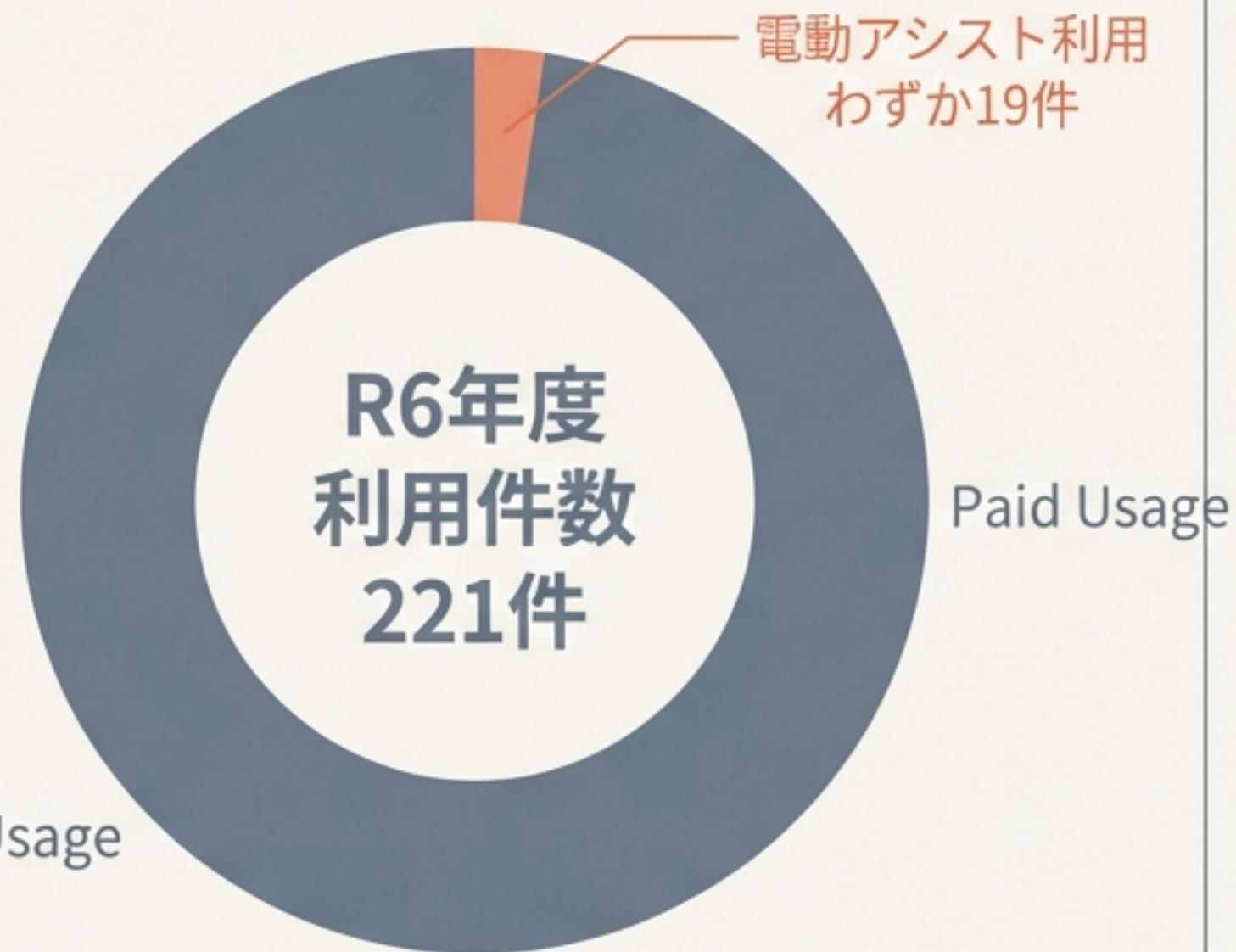
電動アシスト技術が、新得の坂道を観光資源に変える

- 欧米で人気の「サイクルツーリズム」。インバウンド需要は日本の自然体験を求めている。
- 体力に自信がなくても、E-Bikeなら屈足（くつたり）まで快適に移動可能。

「日常の景色でも、観光客にとっては特別な魅力となる」 - 桜田議員



# 現状の課題：無料レンタルからの脱却



年間売上 19,000円

## 提言と回答

- 提言：シティサイクル（ママチャリ）から、MTB・クロスバイク型E-Bikeへの転換。「無料の足」ではなく「お金を払う価値のあるアクティビティ」へ。
- 行政回答：先進自治体を調査し、導入を検討する。

# インフラ：札幌3号線の「心理的距離」



H20-30平均: 年2.6回  
通行止め

→ R1-R5平均: 年1.8回  
通行止め

## 分析

頻度は減っているが、生活道路としての信頼性は未だ低い。

# 解決策：維持補修か、抜本的な新設か



## 対症療法 (Current)

- ・防風林（カラマツ）の植樹
- ・雪堤、防雪ネット

課題：木の成長には時間がかかる



## 根本治療 (Proposed)

- ・吹きだまり箇所を避けた「迂回ルート（新設道路）」の建設

## 今後の展望 (Future Outlook)

数年後のスマートインターチェンジ開通を見据え、町全体の交通体系の中で検討する。

町長：選択肢の一つとして検討。』

# 介護・福祉：崩壊する全国、持ちこたえる新得

## 全国 (National Crisis)

2023年の介護倒産は2010年比で6倍増。  
訪問介護の4割が赤字。



## 新得町 (Local Reality)

特別養護老人ホーム3箇所、  
グループホーム2箇所など、  
現時点では充足。



結論：直ちに撤退・廃業には繋がらないが、  
楽観はできない。

# 真のリスクは「資金」ではなく「人材」

# 人材

「お金の問題以上に、人がいない」  
医療・介護の人材不足は深刻。

## 町長のコミットメント

高齢者の生活を守るために、最終的な手段としての「公的資金（税金）投入」も排除しない。

社会福祉法人の経営は、通常の民間企業とは異なる支援が必要。

# 新得山スキー場：気候変動という「見えない壁」



# 存続への道：人工降雪機と「水」の壁



## 提案

オープン日を確実にするための  
「人工降雪機」導入。

## 課題

「ただの水」を確保するのは容易で  
はない。サホロリゾート等の事例を  
参考に水源確保の調査から始める。

---

※ロッジでの「手打ちそば」提供も、人手不足により困難な状況。

# まとめ：今後のアクションプラン



## 推進 (Proceed)

サイクルツーリズム  
高機能E-Bike導入による  
収益化モデルの構築。



## 検討 (Study)

道路交通・防災  
スマートIC開通を見据えた、  
札幌3号線の抜本的改良。

新得山スキー場  
人工降雪機導入に向けた  
「水源」の確保調査。



## 注視 (Monitor)

介護・福祉  
人材不足の動向と、必要に  
応じた公的支援の準備。



# 次世代のために、 今できる選択を。

「卒業する中学生も新得山の行方を気にしている。今の現実を直視しつつ、将来にツケを回さない解決策を考えていく」

- 新得町長 (Shintoku Mayor)

新得町 - 2025.03